

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-18	戸開走行保護装置（UCMP）検査における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法（SPACEL）	2024-6-24

まえがき

本説明書は、戸開走行保護装置（UCMP）における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性の確認をするための手順書です。

本説明書は、昇降機検査資格者（建築基準法に定められた検査資格者の資格を有する者、もしくはその指導を受け同等の技術を有する者）及び制御システム、制御装置構成に関する基本的知識をお持ちの専門技術者の方を対象に記載しています。

作業に当たっては、必ず事前に本説明書を熟読し、記載している指示に従って操作を行ってください。

説明書に記載した以外の行為・操作は禁止します。

説明書に記載した以外の行為・操作を行った場合は機器の損傷など安全が損なわれることがあります。

説明書に記載した以外の行為・操作を行ったことによる機器損傷あるいは事故が発生した場合には、当社としては一切の責任を負いません。

本説明書は大切に保管し、管理の徹底をお願いします。

製品の移設・転売の際は、必ず製品と共に取り扱い説明書を引き継いでください。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-18	戸開走行保護装置（UCMP）検査における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法（SPACEL）	2024-6-24

安全上のご注意

本説明書には、作業される方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、作業を安全に正しく実施していただくために、重要な内容を記載しています。次の内容を（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

〔表示の説明〕

表 示	表 示 の 意 味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷（*1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

〔図記号の説明〕

図記号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	“  ” は、禁止事項（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	“  ” は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-18	戸開走行保護装置（UCMP）検査における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法（SPACEL）	2024-6-24

一般禁止・注意事項

製品・利用者・作業者の安全性維持の為に作業時の禁止事項（注意事項）を以下に列挙します。内容を把握し、遵守してください。

エレベーターシステムの不適切な操作・作業は故障や破損・災害を引き起こす要因となります。万一本説明書に記載した以外の行為、禁止している操作等を実施し、直接的若しくは間接的な不具合に至った場合には当社としては責任を負いかねますので予めご了承ください。

⚠ 危険

- 1) エレベーター制御盤を指示なく改造する事を禁止します。
装置の誤動作・発炎・発火等の要因ともなり作業者自身にも危険が及ぶ場合があります。
- 2) 部品交換に際して純正部品以外の使用（流用）を禁止します。必ず指定用品を用いてください。
- 3) エレベーター制御盤において調整保守時に使用するスイッチ部以外の盤内部品に電源投入状態にてむやみに触れる事を禁止します。感電の危険があります。
- 4) 安全回路・ドア回路を短絡して使用する事を禁止します。
非常時の各種保護が動作せず、異常走行の原因となり大変危険です。
- 5) 事前にかごの位置を確認しないで、のりばドア解除キーにてホールドアを開放することを禁止します。昇降路に転落し死傷する恐れがあります。
- 6) かご上に乗る込む時、かご上安全スイッチを「STOP」にし、かご上点検スイッチを「INS」にする前に乗る込むことを禁止します。また、乗る込みに十分な余裕がある位置にかごを停止させる前に乗る込むことを禁止します。
- 7) 保護具(安全帯、保護帽等)を着用せずにかご上に乗る込む事を禁止します。また、かご昇降中に於いてはかご上保守作業用すりからはみ出す事を禁止します。
衝突・転落の危険があります。
- 8) エレベーター機械室内には発熱部・可動部・回転部等多くの危険要素が存在します。原則として専門技術者以外の入室は禁止です。施錠管理等をしっかりと行い、一般利用者が立ち入らない様注意してください。
誤動作・いたずら等によるシステム異常発生を防止する意味もあります。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-18	戸開走行保護装置（UCMP）検査における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法（SPACEL）	2024-6-24

1. 適用

適用を表1に示します。

表1. 適用表

巻上機型式	大臣認定型名	大臣認定番号
TMLGL06Aシリーズ	TMBGL10A-SI-2	ENNNUN-2653
TMLGL10Aシリーズ	TMBGL10A-SI-3	ENNNUN-2814

尚、TMLGL06A1、TMLGL06AT1など型式の展開をTMLGL06Aシリーズと総称しています。
TMLGL10Aシリーズについても同様です。

2. 検査方法

次の手順で速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性を確認してください。

2. 1. 速度監視装置確認検査方法

- I/O-500基板のロータリースイッチ（CPUSEL）を1にする。
- MODE「OF」をセットする。
 - MOD釦を2回押し、7セグ表示を「0. 0. . .」にする
 - NUM釦を繰り返し押し、7セグ表示を「0. F. . .」にする
 - STB釦を1回押し、7セグ表示を「0. F. 0. 0.」にする
- MODE「OF」でC1をセットする。
 - NUM釦を12回、STB釦を1回押し、7セグ表示を「0. F. C. 0.」にする
 - NUM釦を1回押し、7セグ表示を「0. F. C. 1.」にする
 - STB釦を1回押し、7セグ表示を「. . . .」にする
- 点検運転でかごを走行し、7セグ表示のBIT.11が点灯することを確認する。
- 復帰後にI/O-500基板のロータリースイッチ（CPUSEL）を、0にする。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-18	戸開走行保護装置（UCMP）検査における速度監視装置と運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法（SPACEL）	2024-6-24

2. 2. 運転制御用CPU及びプログラムの健全性確認検査方法

1. I/O-500基板のロータリースイッチ（CPUSEL）を1にする。

2. MODE 0に9BD3をセットする。
 - 1) MOD釐を2回押し、7セグ表示を「0. 0. . .」にする
 - 2) STB釐を2回押し、7セグ表示を「0. 0. 0. 0.」にする
 - 3) NUM釐を9回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「9. 0. 0. 0.」にする
 - 4) NUM釐を11回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「9. B. 0. 0.」にする
 - 5) NUM釐を13回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「9. B. D. 0.」にする
 - 6) NUM釐を3回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「9. B. D. 3.」にする
 - 7) STB釐を1回押す
 - 8) PRS釐を1回押し、7セグ表示を「E. C. . .」にする

3. MODE 1に0をセットする。
 - 1) MOD釐を2回押し、7セグ表示を「0. 0. . .」にする
 - 2) NUM釐を1回押し、7セグ表示を「0. 1. . .」にする
 - 3) STB釐を3回押し、7セグ表示を「一. 一. 一. 0.」にする
 - 4) PRS釐を1回押し、7セグ表示を「E. C. . .」にする

4. MODE 4に4321をセットする。
 - 1) MOD釐を2回押し、7セグ表示を「0. 0. . .」にする
 - 2) NUM釐を4回押し、7セグ表示を「0. 4. . .」にする
 - 3) STB釐を4回押し、7セグ表示を「0. 0. 0. 0.」にする
 - 4) NUM釐を4回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「4. 0. 0. 0.」にする
 - 5) NUM釐を3回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「4. 3. 0. 0.」にする
 - 6) NUM釐を2回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「4. 3. 2. 0.」にする
 - 7) NUM釐を1回、STB釐を1回押し、7セグ表示を「4. 3. 2. 1.」にする
 - 8) PRS釐を1回押す

5. PU基板がWDT動作することを確認する。

6. 復帰後にI/O-500基板のロータリースイッチ（CPUSEL）を、0にする